

ローマン・ドブジンスキー氏は、元ポーランド国営放送製作局長。元世界エスペラント協会副会長。現、世界エスペラント協会名誉会員。

エスペラントを作ったザメンホフ博士の直孫、ルイ・クリストフ・ザレスキ＝ザメンホフ氏へのインタビューを元に編まれた著書『ザメンホフ通り エスペラントとホロコースト』を2000年に出版。日本語を含め14カ国語に翻訳されました。

2008年には、『ボーナ・エスペーロ 理想と現実』を上梓。

2009年から13年までは、大本を取材。取材の成果として、DVD「日本の春—大本2009」が、2011年の第96回世界エスペラント大会・文芸コンクールの映像部門で1位に入賞しました。また、大本取材は、書籍の形として、エスペラント普及会(EPA)90周年を記念し、Rakontoj el Oomoto(大本物語)が2013年に出版されました。本誌で(2014年7月号～2016年10月号)全日本語訳を發表しました。紙面の都合で、エス文の解釈、単語、語句の説明は掲載できませんでした。今月号から、特に読者に興味をひく内容や表現が含まれる部分を取り上げ、詳しく解説していきます。エスペラントの生きた教材として共に勉強しましょう。

エスペラント普及会講師  
矢野裕巳

## Cent Kvindek Tagoj

Nigraharaj kapoj elstaras el varma akvo de vasta bankuvo, en kiu ankaŭ (1)mi sidas trempita ĝis la kolo. (2)La „flosantaj“ kapoj unu post la alia ekparolas al mi....en Esperanto. Tia sceno plurfoje ripetiĝis dum mia vizito al la japana urbo Kameoka, en la sidejo de la (3)kulturreligia movado Oomoto. Japanoj ŝatas post tuttaga laboro, banante sin, ĝui restadon en varma akvo, (4)des pli kiam ekstere malvarmas. Ĝuste, mi estis alveninta vintre, kiam komenciĝis la jaro 2009.

(『Rakontoj el Oomoto』p7~)

## 150日

黒々とした頭が、広い浴槽の温かいお湯から突き出ています。首まですっぽりと浸かった私も、その浴槽にいます。プカプカ浮いている頭が、順番に私に話しかけます、エスペラント語で。そのような光景は、日本の亀岡という市に私が滞在している間、何度となく、繰り返されました。私は、亀岡で「文化宗教運動」を展開する大本本部のお世話になっていました。日本人は一日の終わりに、全身を熱い湯ぶねに浸し、熱いお湯でリラックスする事を好むのです。外が寒い日には、なおさらです。

2009年の初め、まさにそんな冬に、私は日本に到着したのです。  
(『大本物語』p7より)

### 【語句】

Nigraharaj 黒髪の kapoj 頭 elstaras 突き出ている、とび出ている varma akvo 暖かい水、湯 bankuvo 浴槽、湯ぶね bano 水浴、入浴 kuvo 桶、水盤、trempi 浸す、浸ける kolo 首 flosi 浮いている、ただよう unu post (la) alia つぎつぎと plurfoje 何度も ripetiĝis 再現された sidejo 本部 bani sin 入浴する ĝui 楽しむ

### 【解説】

『大本物語』の冒頭、書き出しの部分です。日本語の書籍でも同じですが、まさに、最初の部分が面白ければ、それにひかれて、読者は読み続けたいと思うものですね。それだけ、特に書き出しには書き手の力量が試されるのでは? 「お湯から突き出た黒髪の頭が話しかけてきました。」はなかなか愉快的な始まりでは?

黒髪は当然、日本人を表しています。

そして、その「ぷかぷか浮いている頭が、私に話しかけます。」著者は日本を知らない、外国人に日本人が大好きな、入浴のシーンを描写しながら、日本人の日常を見事に表現している書き出しだというのが、私の感想です。皆さんはどう思われますか? このエス文から4点を取り出し、勉強しましょう。

(1)mi sidas trempita ĝis la kolo.

sidi を辞書で調べると、まず、「座っている」、「腰掛けている」と書かれています。しかし、よく辞書を見ると、「物が安定した状態である」「人が動かないでいる」等の意味も見つけられます。Mi estas trempita ĝis la kolo. 首まで浸かっている。の estas が sidas に変わって、その状態で動かないでいると表現しています。

### 【例文】

Sur ŝia kapo staris malgranda ĉapeto. 彼女の頭には小さな帽子が載っていた。

En unueco staras nia forto. 団結のなかに我々の力がある。

sidi dome 家に閉じこもっている sidi senlabore 無為に過ごす

sidi en embaraso 困惑している (『エスペラント日本語辞典』より)

(2)La flosantaj kapoj

能動(主語が働きかける)の分詞形容詞には、進行(—anta)完了(—inta)未然(—onta)がありますが、flosi 浮いている、ただよう、に anta をつけて浮かんでいる頭の数々。

(3)kulturreligia movado Oomoto

これは、ローマン氏の造語で、大本を単に宗教団体と表現せず、「文化宗教運動大本」と表現しています。

(4)des pli kiam ekstere malvarmas

ju pli ~, des pli ~ ~すればするほど~だ で使われる事が多いが、ここでは、単独で、「いっそう、なおさら」の意味で使われています。

ここでは、「外が寒い時はなおさらです」

### 【例文】

Des pli bone! なおさら結構。

Ju pli multe, des pli bone. 多ければ、多いほど、結構です。

Ju pli frue, des pli bone. 早ければ早い程、よろしいです。

Ju pli da zorgoj, des pli da amo. 手数をかける程、愛着は深まる

(『エスペラント日本語辞典』より)